

島原市の橋の今とこれから

特徴 1

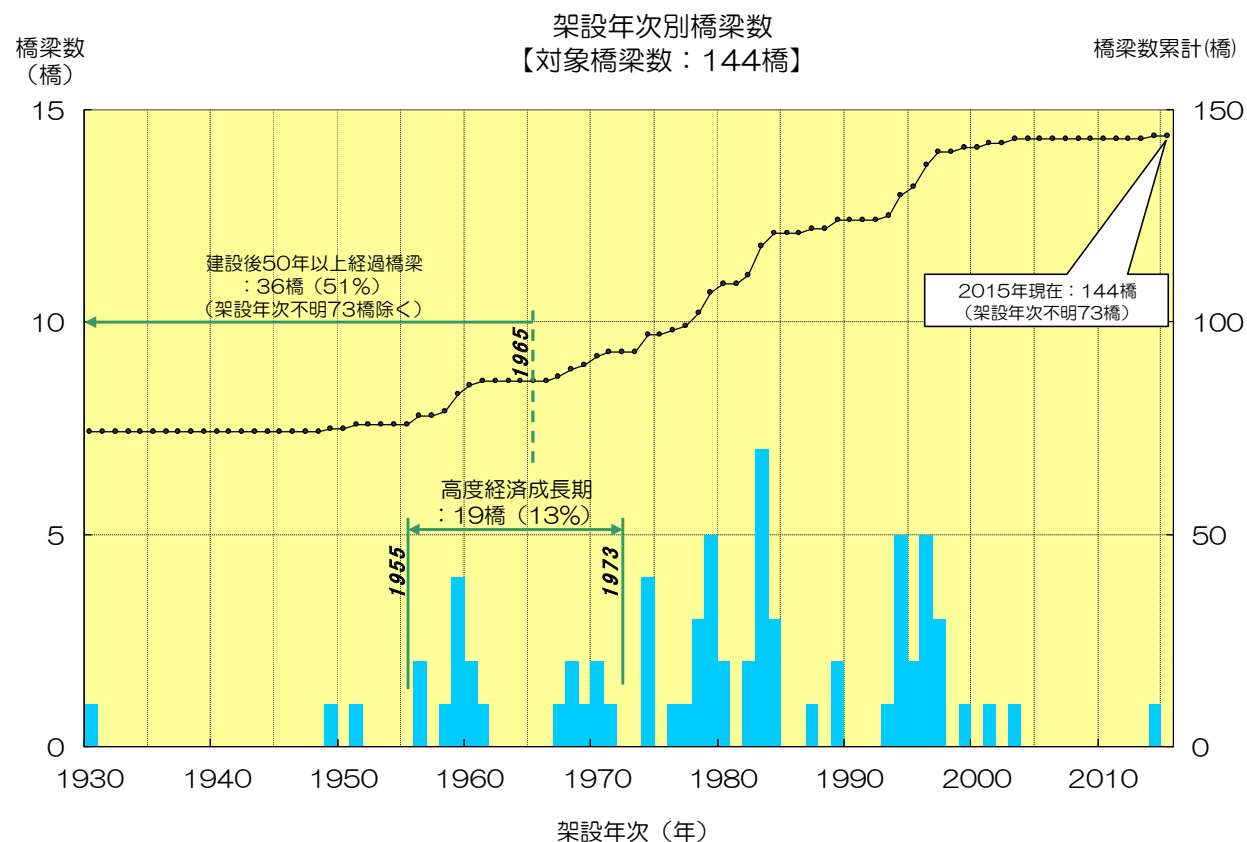
架設年次が不明の橋が多く、全体の約51%を占めている。

特徴 2

東側に有明海があり、海風の影響により塩害を受けやすい環境にあります。

海風の影響で橋が劣化しやすい

架設年次別橋梁数(橋長15m未満)



※同一橋梁で橋種が異なるため、135橋を144橋として分析している

今後急速な補修補強費の増大が予想される！ ➡ 橋の状態を常に把握し、計画的に対策を施す必要がある。

島原市の橋の特徴

島原市は、長崎県の南東部にある島原半島の東端に位置しており、東側は有明海と接しています。

長寿命化修繕計画の対象となる橋は、河川橋を中心とし、有明地区内に点在しています。事後保全的な修繕から予防保全的な修繕への転換を図るためにも、計画的な維持管理を行っていく必要があります。

- 【島原市北部橋梁群】
・ 大橋・三会大橋など 40 / 135 橋)
- 【島原市市街地橋梁群】
・ 北川橋・今川橋など 53 / 135 橋)
- 【島原市南部橋梁群】
・ 下田橋・新々湊橋など 42 / 135 橋)



島原市の橋（計画策定対象）

平成26年度計画策定対象橋梁（15m未満：135橋）

番号	橋梁名称	路線名称	橋長 (m)	架設年次 (年)	地 区	番号	橋梁名称	路線名称	橋長 (m)	架設年次 (年)	地 区	番号	橋梁名称	路線名称	橋長 (m)	架設年次 (年)	地 区
1	中尾橋	中尾川左岸堤塘線	5.8	不明	宇土町	41	新々湊橋	安徳・新山線	11.8	1971	新湊	81	大塚上橋	出の川4号線	3.5	不明	長貴町
2	萩原1号橋	萩原4号線	11.3	1995	浦の川	42	鮎川橋	新湊10号線	6.5	1968		82	大杉橋	長貴油堀線	5.9	1960	
3	萩原2号橋	萩原3号線	11.3	1997		43	鮎川4号橋	新湊大下線	5.2	不明		83	金剛寺橋	河原・原口線	9.1	1983	
4	今井川4号橋	馬場線	3.4	不明	下宮町甲	44	鮎川5号橋	新山・門内線	8.0	不明		84	的野橋	津吹出の川線	10.0	1976	津吹町
5	折橋橋	六ツ木下折橋2号線	6.5	不明	下折橋町	45	琴平橋	南下川尻親和町線	10.5	1970		85	三反畑2号橋	出の川線	5.6	不明	
6	下折橋1号橋	市道廃止	11.5	1983		46	下田橋	新湊3号線	13.8	1970		86	長貴入橋	津吹長貴線	2.5	不明	
7	下折橋2号橋	下折橋10号線	10.5	1982		47	渚橋	新湊6号線	11.2	1974		87	西川2号橋	的野縦線	10.1	不明	
8	亀の甲橋	亀の甲3号線	12.6	不明	亀の甲町	48	新湊橋	新湊大下線	5.9	1960	新和町	88	白水川橋	広馬場元松津線	5.0	不明	津町
9	原口橋	原口長貴線	4.9	1959	広高野町	49	鮎川6号橋	新湊16号線	7.8	不明		89	眼鏡2号橋	蛭子町津町線	10.0	不明	
10	陰平橋	広高野7号線	5.3	1987		50	鮎川2号橋	市道廃止	6.2	不明		90	津町橋	津町2号線	6.7	1979	
11	陰平2号橋	広高野6号線	6.0	1989		51	鮎川3号橋	魚池1号線	5.3	不明		91	田町橋	田町片町線	3.0	不明	田町
12	渡口橋	広高野8号線	2.4	不明		52	北川3号橋	六ツ木1号線	7.7	不明		92	新湊川橋	南下川尻5号線	5.3	不明	南下川尻町
13	広高野橋	広高野油堀2号線	3.4	不明		53	柏野橋	本町城西中の丁線	10.2	1983	杉山町	93	鮎川1号橋	鮎川上線	6.1	不明	南崩山町
14	空柿橋	空柿線	7.4	不明		54	北川1号橋	杉山3号線	7.9	不明		94	萩原4号橋	萩原萩が丘2号線	9.1	1996	萩が丘
15	尻無橋	空柿線	2.3	不明		55	江里大橋	西町江里線	6.3	1968	西町	95	萩が丘橋	萩が丘・青葉町2号線	9.1	1996	
16	白水川1号橋	広馬場2号線	5.4	不明	広馬場町	56	中河川1号橋	山寺中尾線	5.0	2001		96	甚三郎橋	萩が丘青葉町線	9.3	1996	
17	江里4号橋	江里西町線	6.2	不明	江里町	57	白水川2号橋	外港・大手広場線	5.0	不明	西八幡町	97	金倉橋	小山・新山線	22.0	2014	
18	江里5号橋	江里2号線	4.1	不明		58	青葉橋	萩が丘2号線	9.4	1997	青葉町	98	ホロンコ橋	萩原1号線	11.2	1997	萩原
19	有明橋	高島丁・楳原線	5.3	1961	高島	59	無名橋	本光寺六ツ木線	10.0	不明	折橋町	99	萩原3号橋	萩原小山線	9.1	1995	
20	高島1号橋	高島丁15号線	5.2	不明		60	大橋	洗切大手原線	14.6	1930	洗切町	100	新柏野橋	萩池三会線	11.4	1983	柏野町
21	今川橋	外港・大手広場線	13.4	1996	今川町	61	三会大橋	洗切大手原線	13.8	1959		101	玉姫橋	外港・大手広場線	9.3	1956	
22	幸橋	今川町2号線	11.4	1994		62	金洗橋	洗切大手原線	3.3	1969	前浜町	102	音無川3号橋	湊道1号線	6.5	不明	白土町
23	斜い橋	高島丁萩原線	12.7	1994		63	大道下2号橋	前浜2号線	4.9	不明		103	湖水橋	中堀町新山線	8.4	1980	
24	馬場川4号橋	札の元3号線	3.5	不明		64	槐山新田橋	前浜6号線	5.3	1979		104	音無川4号橋	上の原球場線	6.5	不明	
25	大野川2号橋	札の元門内2号線	4.3	不明	札の元町	65	北川橋	前浜8号線	13.9	不明	大下町	105	馬落し橋	袴田1号線	5.5	不明	袴田町
26	原口2号橋	河原・原口線	12.0	1974	寺中町	66	橋の川橋	大下13号線	4.3	1983		106	片町1号橋	田町片町線	2.4	不明	片町
27	音無川2号橋	上の原7号線	3.7	1974	寺町	67	安中1号橋	大下7号線	2.9	不明		107	音無川1号橋	高島丁弁天町線	6.2	不明	弁天町
28	人塚橋	出の川3号線	5.0	1951	出の川町	68	今井川橋	大手原下宮線	7.1	不明	大手原町	108	長尾橋	高島丁湊道線	4.2	1978	
29	コナコ橋	金号寺線	9.0	不明		69	中河原橋	大手原山寺線	7.4	不明		109	弁天橋	弁天町5号線	5.5	1977	
30	小山橋	小山1号線	5.1	不明	小山町	70	島廻橋	大手原山寺線	3.6	不明		110	中央橋	堀町縦線	11.4	1978	
31	新橋	上の町上新町線	11.7	1993	上の町	71	大手原橋	大手原9号線	2.7	不明		111	馬場川1号橋	北安徳1号橋	5.8	不明	北安徳町
32	よろず橋	上の町広馬場線	10.7	1994		72	鮎川中橋	安中稲荷山水無川線	8.5	1967	秩父が浦町	112	馬場川5号橋	天神元2号線	3.5	不明	
33	桜橋	今川町白土線	11.2	1994		73	無名橋	秩父が浦4号線	7.8	不明		113	安徳1号橋	馬場川右岸堤塘線	7.3	1978	
34	極楽橋	萩原2号線	11.4	1996	上新丁	74	下山寺橋	河原・原口線	5.4	不明		114	安徳2号橋	馬場川右岸堤塘線	6.4	1979	
35	新大屋敷橋	長池三会線	10.0	1999		75	田中橋	大手原山寺線	5.0	不明	中尾町	115	安徳橋	北安徳13号線	6.6	不明	
36	大屋敷橋	城見町萩原線	7.0	不明	城見町	76	宇土橋	ひょうたん畑出の川線	6.0	1959		116	無名橋	北安徳14号線	6.0	不明	
37	緑町橋	八幡町緑町線	7.4	1984	新山	77	音無川橋	上の町広馬場線	4.6	1979	中堀町	117	安徳3号橋	船泊北安徳1号線	7.4	不明	
38	船蔵橋	高島丁2号線	5.4	不明	新町	78	寺中川橋	洗切6号線	9.2	1989	中野町	118	安徳4号橋	北安徳5号線	6.0	不明	
39	下新町橋	弁天町上新町線	5.7	1974		79	奥平橋	中野寺中線	9.4	1958		119	北上木場橋	北上木場2号線	3.5	不明	北上木場町
40	新田橋	片町宮の町線	10.0	2003	新田町	80	西川橋	中原2号線	11.2	1959		120	片原橋	北門線	8.7	不明	北門町

島原市の橋（計画策定対象）

平成26年度計画策定対象橋梁（15m未満：135橋）

[illegible]

橋の健康状態を知るために

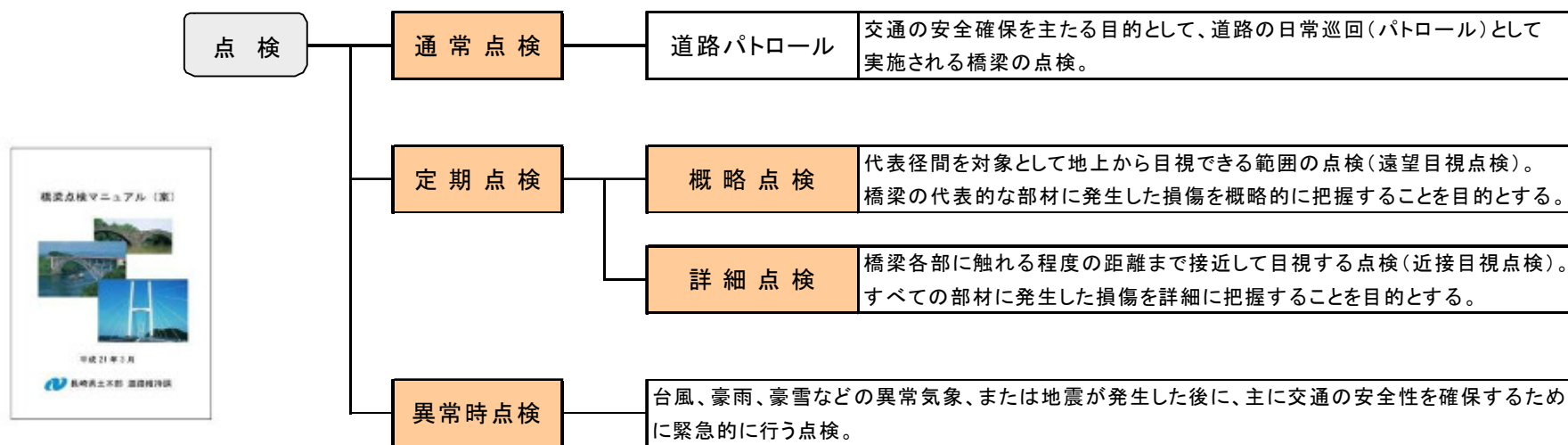


効率的に橋梁の健康状態を調査

長崎県は、橋の点検を、効率的かつ低価に実施することができるように、橋梁点検マニュアルを整備し、橋梁点検支援システムを構築しました。また、点検の体系についても確立しています。

島原市においても、長崎県により整備されている橋梁点検マニュアルを利用して概略点検を行うことにより、管理している橋の健康状態を効率的に把握することができました。

今後も定期的に点検を実施し、橋の健康状態を常に把握し、適切な維持管理を実施していきます。



橋の寿命を延ばすために

橋は市民の大切な財産です ⇒ 次の取り組みにより橋の寿命を延ばして財産を守ります

- ・ 橋梁点検結果により、架替え検討もしくは修繕が必要と判断した橋については、今後10年以内で対策を実施します。
- ・ 他の橋についても定期的な点検及び早期の修繕に取り組み、橋を長持ちさせます。 → 予防保全型への転換を図ります。
- ・ 定期的に点検を実施し、橋の健康状態を常に把握します。
- ・ 財政状況を考慮した対策を実施し、効率的な維持管理を実行します。

今後の点検・修繕計画

	単位	H27 計画	H28 計画	H29 計画	H30 計画	H31 計画	H32 計画	H33 計画	H34 計画	H35 計画	H36 計画	合計
点検計画 橋梁数	橋	7	6	5	72	63	0	3	6	61	74	297*
修繕計画 橋梁数	橋	0	3	3	3	15	0	0	0	3	1	28
修繕・架替え 事業費	百万円	—	11.4	11.1	11.1	10.4	—	—	—	1.7	2.1	47.8

*点検計画橋梁数の合計については複数回点検を実施する橋梁があるため、対象橋梁数とは異なる。

橋の健全性を向上させ、安全で安心な橋を保ちます。

長崎県市町橋梁長寿命化検討委員会

本委員会では、橋梁長寿命化修繕計画の策定にあたり、学識経験者等の意見を聴取し、計画に反映させております（平成27年3月開催）。

委員会における議事内容の抜粋

- ◆田町橋については、架設位置が河口付近であるということより塩害の可能性があります。まだ、塩分量について把握されていないということです。塩分の量にもよりますが、床版コンクリートの内部深くまで、浸透している場合には、今後の維持補修のことを考慮しても架替えを踏まえての検討を行った方がよいと思います。
- ◆各市町における管理橋梁について、小規模で予算的に圧迫しない程度の橋梁については、架替えも含めた上で、検討を行い、補修か架替えかの選択を行うことが望ましいと思います。
- ◆今年度から定期点検により、近接目視点検が実施されています。今回の事例では、鋼橋とコンクリート橋において類似の事例が多く確認されていますので、県内で情報を共有しながら、維持管理手法について確立させていければと思います。



- ◆長崎県下各市町が「橋梁の定期的な補修によるコスト縮減効果」と「橋梁の規模に応じた架替えと補修との検討」の両方について考慮して維持管理に取り組むことが必要です。
- ◆社会資本を維持管理していくということは市民の財産を守ることであるということを念頭に置いておくことが重要です。

橋の長寿命化修繕計画

今回、対象となった15m未満の135橋について長寿命化修繕計画を策定しました。

点検によって捉えた劣化損傷に対して、修繕が必要な橋から早めの対応を行うことにより予防保全型へと移行し、安全性を高めるとともに、将来にわたって維持修繕にかかるコスト縮減を図ります。

今後は計画に従って点検・修繕を行い、必要があれば計画の見直しを行う予定です。

長寿命化修繕計画の実施方針

- ◆点検結果より修繕が必要と判断された橋は、**今後10年以内**に対策を完了し、維持管理水準を高めます。
- ◆長寿命化修繕計画策定後は、橋の維持管理を**予防保全型**へと移行し、**安全性の確保**と**コストの縮減**を図ります。
- ◆今後は定期的に点検を実施し、必要に応じて計画の見直しを行います。
- ◆修繕にあたっては予算の平準化を図りながら、計画的に実施します。